

口腔インプラント治療は従来のブリッジや入れ歯に比較して自分の歯に負担をかけることなく失われた歯の代わりとして審美、機能を回復することができる治療です。インプラントによる修復は自分の歯のように食事ができるばかりでなく、噛むことによる刺激が脳に伝達され、呆け防止にもつながるといわれています。このことは健康維持、増進にもつながります。日本人の平均寿命が世界一であっても健康でなければなりません。大事なものは健康寿命です。

インプラント治療を行うにはインプラントの埋入のための口腔外科手術、全身的状态の把握、入れ歯やブリッジを作る技術、また解剖学的な知識など通常の歯科治療以上の専門的なまた高度な総合的な知識や治療技術が求められます。

患者さんの状態により、口腔インプラント治療が難しい場合もあります。治療する歯科医師の先生の持つ技術を超える症例もあります。今日、遺憾なことです。インプラント治療について多くのトラブルが報道されていることも事実です。この原因は歯科医師であれば歯科医師法によりだれでもインプラント治療を行うことが資格上は可能であることです。このようなことから日本口腔インプラント学会では会員の知識、技術の向上を目的に専門医制度を立ち上げ、研修施設、学会主催の研修会、会員歴、筆記試験、口頭試問など厳しい条件を設け、これをクリアした方を専門医に認定しています。現在、公益社団法人日本口腔インプラント学会の会員は全国で 14,000 余名おりますが専門医は約 900 名です。公益社団法人 日本口腔インプラント学会は卒後の教育のみではなく、歯科大学での教育カリキュラム案の作成や基礎実習の導入、また患者さんへの安心・安全な医療を目指し活動を行っております。疑問質問等がありましたら学会事務局にご連絡頂くか、または学会のホームページに掲載されております相談窓口の専門医に連絡頂きたいと思っております。相談窓口では皆様からのご質問にお答えします。本学会は国民の皆様方への適切で安全・安心の医療を提供する学術団体として活動しております。

